

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

作成日：令和7年9月11日

活性化計画名	上折壁地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
岩手県一関市	32093	1	平成24年度～ 平成25年度	平成24年度
活性化計画の区域				
区 域：岩手県一関市室根町上折壁地区 区域面積：31ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備 考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	0年	0.00%	
基盤整備事業実現に向け合意形成に取り組んでいるが、令和7年8月現在、事業実施には至っていない。				

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地形図作成	航空写真及び現地測量による地形図作成A=31.0ha			一関市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
一関市	平成24年度	平成24年度	—	
事業の効果				
作成した地形図により、基盤整備実現に向けた事業計画の具体化を図るように関係受益者の合意形成を進めている。				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農用地集団化	経営体育成促進換地等調整 (地区内農地等状況調査他) A=26.0ha			一関市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
一関市	平成24年度	平成24年度	—	
事業の効果				
作成した農用地等集団化資料により、基盤整備実現に向けた事業計画の具体化を図るように関係受益者の合意形成を進めている。				

3 総合評価

基盤整備事業に向け調査事業の早期再開を目指し、基盤整備推進委員会の設立準備委員会を立上げ合意形成を進めているところであるが、地権者の100%同意を得るに至らず県営土地改良事業の採択を受けることが出来なかったことから、目標が達成されなかった。

現在、未同意者の基盤整備事業への理解もかなり進んできており、集落営農の有効性についての方向性は確認できているところ。

今後更なる合意形成を進め、一定区域測量、埋蔵文化財調査等を先行して行い、令和13年度に事業施行認可を岩手県に申請、令和14年度事業採択を目指す。

4 第三者の意見

地元基盤整備事業推進委員会が中心となり合意形成に取り組み、地権者等への丁寧な説明を行い100%の合意に向け進んでいる。基盤整備事業の区域と集落営農の確立を目指すことでも取り組んでおり、時間は要しているが活性化計画目標の達成は可能と考えられる。

（ 一関地方土地改良区協議会
会長 小野寺 道雄 ）